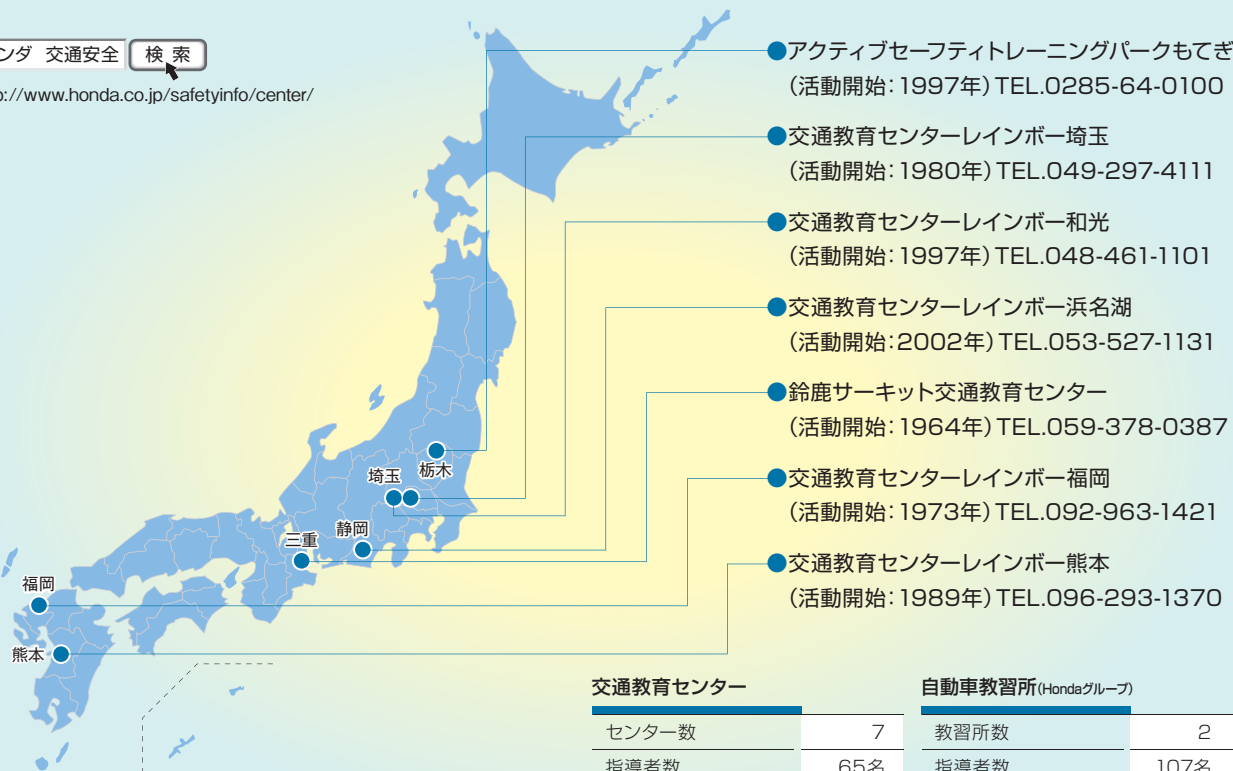


交通教育センター

ホンダ 交通安全 検索  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/center/>



交通教育センター		自動車教習所(Hondaグループ)	
センター数	7	教習所数	2
指導者数	65名	指導者数	107名
四輪研修車両	201台	四輪教習車両	134台
二輪研修車両	666台	二輪教習車両	103台

2013年11月末現在

交通教育センターが提供する安全運転教育プログラム

Hondaの交通教育センターでは、社内外の指導者養成や、企業、学校、個人のお客様を中心に安全運転教育を行っています。個人のお客様向けには、クルマやバイクの魅力を実感いただきながら、楽しく安全運転の知識を身につけていただける様々なコースを用意しています。

HMS (Hondaモーターサイクリスト・スクール)

HMSは、車両の取り回しや運転姿勢、ライディングの基本である「走る・曲がる・止まる」を身につけていただく参加体験型のスクールです。専門のインストラクターが安全運転のポイントをアドバイスし、運転技術とともに安全意識を高めることができます。



親子でバイクを楽しむ会

バイクに乗る体験を親子で共有することで、親子の絆を深めていただくためのスクールです。お父さん、お母さんが先生になって、バイクの操作方法や楽しさ、交通ルールやマナーの大切さをお子様へ伝えます。ご家族のコミュニケーションづくりにも最適です。



HDS (Hondaドライビング・スクール)

HDSは、日頃の安全運転に役立つ知識や技術を身につけていただく参加体験型のスクールです。運転に自信がない方には基本から丁寧にアドバイス。もっと運転を楽しみたい方も、Hondaの先進設備で危険を安全に体験する運転トレーニングが行えます。



企業向け安全運転研修

各企業の実情に合わせた交通安全教育を提供しています。これまでに1500社を超える企業様の交通安全対策をサポートしています。安全運転研修に参加された企業様は、その後の実績や調査から、事故の減少効果が確かめられています。



海外拠点

海外でのお客様や地域社会へ交通安全を伝える活動は、Hondaの現地法人・関係拠点が主体となって展開し、世界36カ国で活動しています。(日本を除く)



活動事例

海外では販売店でのお客様への納車時安全啓発や、交通教育センターでの実践教育、女性のお客様や子供を対象とした安全教育を中心に、政府や関係団体と連携しながら各国の交通事情に即した活動が活発に展開されています。

インド

Honda Motorcycle & Scooter Indiaは「お客様に安全を届けるまでが仕事」という意識を持ち、子どもや学生、さらに社会進出が著しく増加する女性に対し活動を拡大。活動を支える販売店での納車時安全アドバイスを強化し、警察を含む政府が保有する交通公園を借り受けて教育センターとして活用するなど、インド全土への交通安全教育の普及をめざしています。



これから社会人になる学生へ行った安全運転講習

小学校で行った交通安全教室



Safety Driving Managers Meeting (各国責任者会議)

昨年に引き続き、安全運転実務責任者を集めた「Safety Driving Managers Meeting」を鈴鹿サーキットで開催。タイ、ベトナム、フィリピン、中国、インド、インドネシア、マレーシア、日本の世界8カ国から活動を行う現地法人や事業所の責任者21名が参加しました。地域や国によって交通事情が大きく異なるため、活動の方向を提示するとともに、各国の活動事例を共有。さらに「販売店の安全運転普及活動」に関するディスカッションなどを通じて、今後の活動のレベルアップおよび活性化を図ることをめざしています。



各国責任者会議の出席者

会議では活発な意見交換が行われた

